

## iStorage M110 導入事例

# 株式会社プロット様

「専門知識不要で、容易に運用できる安心感」が決め手となり、クラウドサービスのIT基盤に「iStorage M110」を導入



株式会社プロット  
製品事業部  
次長  
早川 雄藏 氏



株式会社プロット  
製品事業部  
ネットワーク課  
係長  
山下 卓也 氏

### 事例のポイント

#### 課題背景

- ・ ファイルを転送・共有したいというユーザの要望に、迅速に対応したい
- ・ 取り扱うデータの肥大化に伴う、サーバ内蔵ディスクの容量不足
- ・ サーバ毎の煩雑なバックアップ運用

#### 成果

- ・ **顧客対応の迅速化**  
オーダーからサービスインまでの期間が一月から 一週間以内に短縮
- ・ **大容量データ対応**  
テラバイト級の大容量データが利用可能に
- ・ **バックアップ運用の簡易化**  
ストレージ自身での、筐体間のボリューム複製が可能に。冗長化対策など、サービス基盤全体を強化

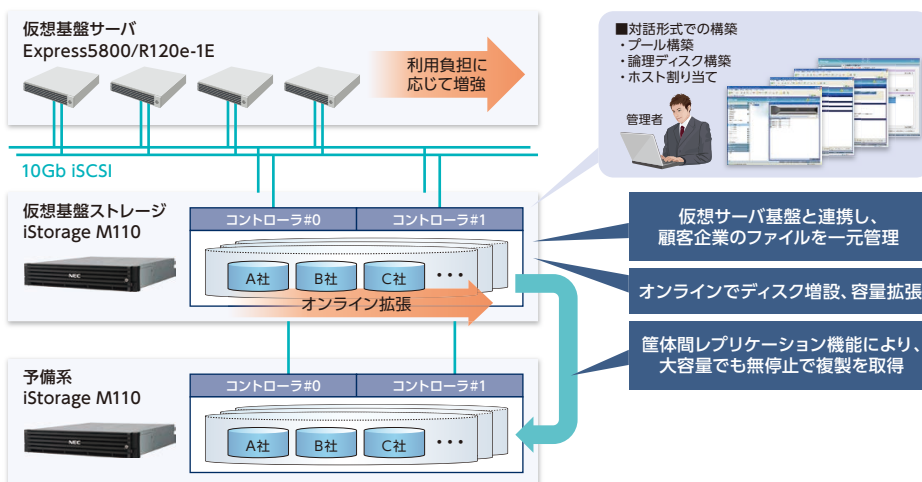


社 名：株式会社プロット  
本社所在地：大阪府大阪市北区梅田3-3-20  
明治安田生命 大阪梅田ビル23F  
設 立：1980年7月  
資 本 金：3,000万円  
売 上 高：6億円  
従業員数：60名(2015年現在)  
事業内容：パッケージシステム開発、クラウドサービス  
構築・運用、レンタルサーバサービス、セ  
キュリティサービス、ネットワークおよび  
サーバ構築・運用、Webサイト構築  
U R L：http://www.plott.co.jp/  
http://www.smoothfile.jp/



### 導入ソリューション

- 株式会社プロット様の主力製品「Smooth File」のクラウドサービス基盤を支えるストレージ装置「iStorage M110」



- 主系のストレージ「iStorage M110」は、複数台の仮想基盤サーバと連携し、顧客企業のファイルを一元管理。
- バックアップストレージ用途として導入している副系のiStorage M110は、無停止で完全複製を作成できる「筐体間レプリケーション機能 (RDR)」によって、日次でデータを複製している。

## 導入前の背景や課題

ファイル転送サービスの容量不足と  
バックアップ対策が喫緊の課題に

株式会社プロット様は、WEBシステム開発、ホスティング、クラウドサービスなど、幅広いIT分野の事業を展開している企業です。近年は、企業間コミュニケーションをセキュアに実現するサービスプロダクツの開発に注力。情報漏えい対策やコンプライアンスなど、社会的な要請を背景に、販売を順調に伸ばしており、現在では全売上高の約5割をサービスプロダクツが占めています。

同社の代表的な製品は、メールで添付できない大容量ファイルの送受信やファイル共有を可能にする「Smooth File」というシステムです。オンプレミス（設置型）での提供に加え、2011年からは複数台のNEC Express5800シリーズで仮想基盤のシステムを構築し、クラウド型のファイル転送・共有サービスを開始しています。「当時は、オープンソースのストレージとローカルのディスクを用いて、お客様のデータファイルを管理していました。しかし2013年ごろから本サービスの導入企業が増加し、既存のお客様からもテラバイト級のファイルを転送・共有したい

というご要望やデータ容量をフレキシブルに追加したいというご要望が寄せられていました。しかしこれに対応するためには、ハードウェアの調達などで一か月近くお客様をお待たせしてしまうという問題があったのです。もはや現状のデータ保存のしくみでは運用が難しくなり、容量不足への対応が喫緊の課題でした。また、データの肥大化に伴って、世代管理が追いつかなくなっていました。つまり、バックアップの対策にも取り組む必要があったのです」。製品事業部 次長の早川雄蔵氏は、2013年当時の状況をこのように説明します。

## 選択のポイント

導入・運用のしやすさ、および  
ストレージ装置として充実した  
機能・性能を高く評価

こうした背景から、プロット様では信頼性の高い大容量のストレージ装置を活用する方針を立て、製品選定に着手しました。数社の製品を比較検討した結果、プロット様はNECの「iStorage M110」を選定しました。「選定プロセスでは、iStorageの評価機を2台お借りして、レプリケーション機能のテスト、負荷

評価などを行っています。負荷テストやアップロードテストでは、Smooth Fileの各機能を従来と変わらないスピードで運用できることがわかりました。これらのテストで判明した高速性能と、オンライン業務に影響を与えずエンクロージャを増設できる拡張性を評価しました」。製品事業部 ネットワーク課 係長の山下卓也氏は、選定の理由をこのように話します。加えて山下氏は、「導入・運用が簡単」である点を、高く評価します。「比較検討した他社の製品は、いずれもGUIやマニュアルの一部が英語で記載されてい

ます。そのため、直感的に理解しにくい箇所が多く、運用フェーズで困難が生じる危惧がありました。しかしNECのiStorage M110は、マニュアルをはじめ日本語の記載が充実しており、専門知識不要で容易に運用できる安心感がありました」（山下氏）。また早川氏は、「弊社が求めていた10Gb iSCSI (Copper)が搭載されていることなど、ストレージ装置としての機能・性能も評価しました」と補足します。

## 導入後の成果

容量アップの要望に対し、  
迅速な対応が可能に。  
冗長化対策など、サービス基盤全体を強化

早川氏はiStorage M110の導入成果として、まず顧客対応の迅速化を挙げます。「容量アップのご要望に対しては、セットアップなど簡単な作業のみで対応でき、ハードウェアの調達は不要になりました。現在では、オーダーから一週間以内にサービスを開始できるようになってい

ます。このことが、最も大きな導入効果だと認識しています」。バックアップ対策の面では、山下氏が次のような成果を語ります。「Smooth Fileを、従来からクラウド型のサービスとしても展開してきたわけですが、冗長化対策についてはまだ不十分な面がありました。今回のiStorage M110導入により、ほぼ同期でのレプリケーションが可能になりました。システムに何らかの問題が起きても、すぐに予備系への切り替えができ、安心して運

用できるようになったのです」。同社は、ストレージ装置の安定した稼働についても高く評価しています。「アクセス数の多いお客様が数社あり、弊社で行った負荷テスト以上の状況が起こるのではないかと懸念がありました。しかし、ストレージが原因のパフォーマンス低下や障害は今のところ発生していません」（早川氏）

お問い合わせは、下記へ

## NEC パートナーズプラットフォーム事業部

〒108-8424 東京都港区芝五丁目33番8号（第一田町ビル）

TEL: 03 (3798) 9740

お問い合わせURL: <http://www.nec.co.jp/products/istorage/inquiry>

国内向け製品URL: <http://www.istorage.jp>

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。  
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。  
●本製品の輸出（非居住者への業務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

VEGETABLE  
OIL INK

環境にやさしい植物油インキ  
を使用しています。